

江戸川が氾濫した場合

浸水想定区域図

江戸川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

※一部修正を加えています

指定の前提: 利根川流域、八斗島上流域の

となる降雨 72時間総雨量 491mm

指定年月日: 平成 29 年 7 月 20 日

作成主体: 国土交通省江戸川河川事務所

URL <https://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/>

浸水の 深さ

江戸川
野田
水位観測所

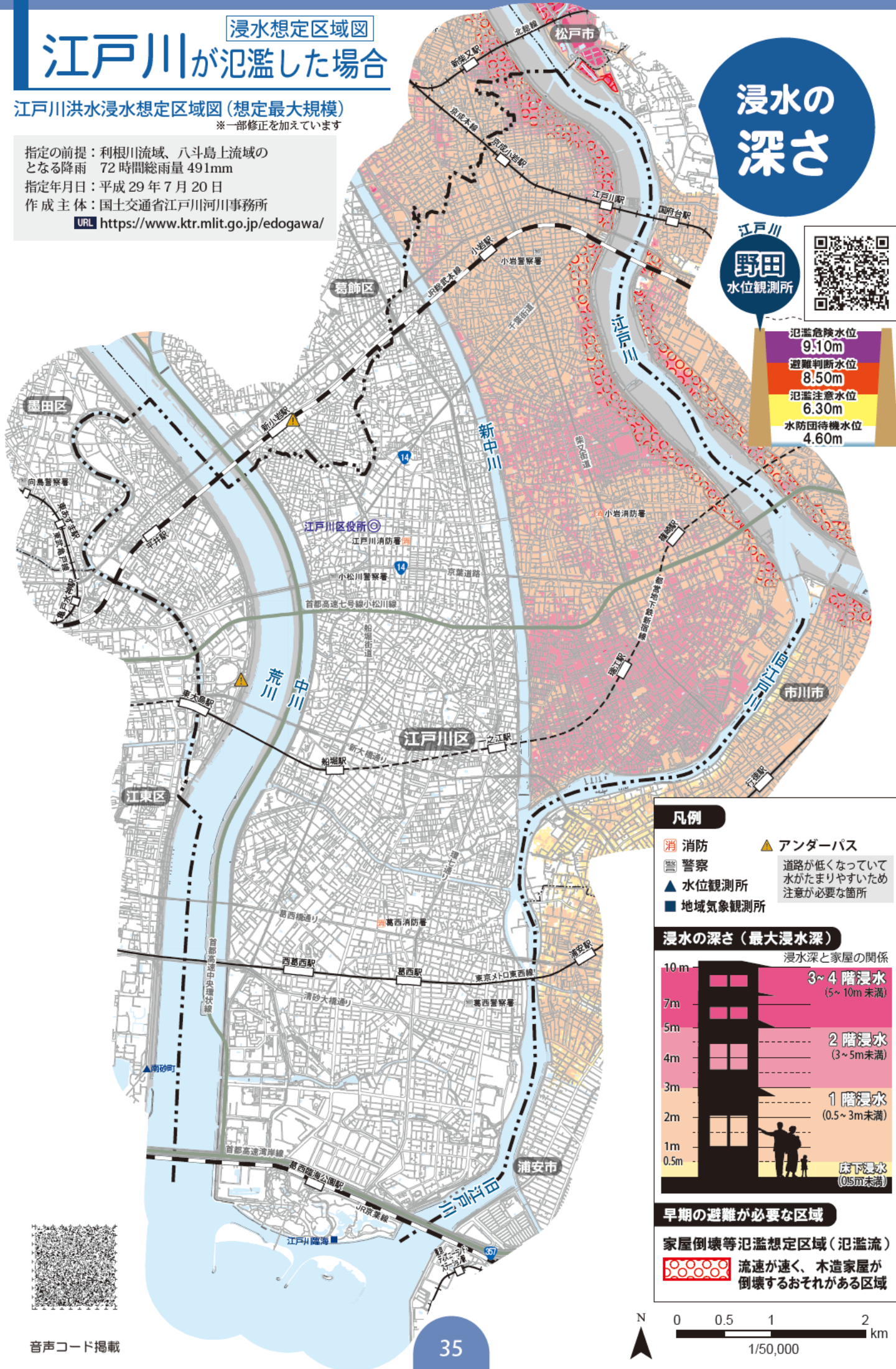


氾濫危険水位
9.10m

避難判断水位
8.50m

氾濫注意水位
6.30m

水防団待機水位
4.60m



凡例

消防

警察

水位観測所

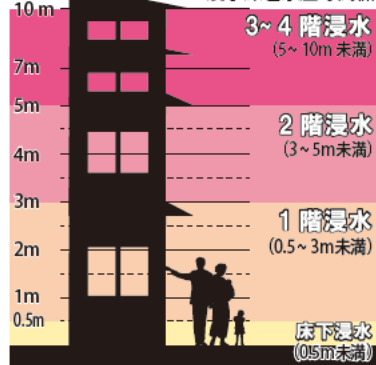
地域気象観測所

アンダーパス

道路が低くなっている
水がたまりやすいため
注意が必要な箇所

浸水の深さ(最大浸水深)

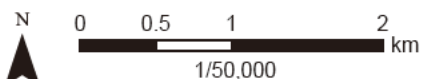
浸水深と家屋の関係



早期の避難が必要な区域

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

流速が速く、木造家屋が
倒壊するおそれがある区域



想定最大規模とは？

約 1,000 年に 1 回程度発生する大雨の規模です。

1 年間に発生する確率は 1/1,000 (0.1%) 以下ですが、発生すると大きな被害となります。

浸水継続時間

浸水想定区域図 江戸川が氾濫した場合

